



チーバくん

未来をつくる！ 若手の先生方の実践を紹介します！

令和6年度
千葉県教育庁
北総教育事務所

U10 学びの未来づくり応援キャンペーン事業

千葉県には、子どもたちの「学びの未来」を支えるために、よりよい授業を目指して、日々の授業改善に取り組んでいる先生方がたくさんいます。そのなかでも、令和6年度の学校訪問で出会った、若手の先生方の実践を紹介します。

U10の先生方(所属・紹介事例の教科・学年)

白鳥 雄輝 先生 (八街市立八街東小学校・算数科・4年生)
右川 夏奈 先生 (八街市立朝陽小学校・音楽科・1年生)
福永 翔太 先生 (八街市立朝陽小学校・生活科・1年生)
大澤 亜由美 先生 (香取市立わらびが丘小学校・体育科・3年生)
菅井 直樹 先生 (匝瑳市立豊栄小学校・算数科・6年生)
廣野 祐子 先生 (印西市立滝野中学校・国語科・1年生)
門脇 淳 先生 (成田市立成田中学校・体育科・1年生)

～紹介シートの見方～



氏 名
学校名

経験年数
(令和6年度末時点)

～授業者のコメント～

授業者に、工夫した点、力を入れた点を聞きました。

小〇年 〇〇科 単元

本時の目標

.....
.....

「実践モデルプログラムを活用した授業のための
チェックシート」(次頁参照)に照らし合わせて、
授業の良かった点を指導主事が紹介します。

授業を参観した指導主事からのコメント①

.....
.....

授業を参観した指導主事からのコメント②

.....
.....

～授業者のコメント～

授業者に、今後の目標や目指す授業について聞きました。

実践モデルプログラムを活用した授業のためのチェックシート

授業の前に	☐ 本単元（本時等）を通して、資質・能力が育成された児童生徒の具体的な姿を、観点別の目標に基づいて描いている。 ☐ 児童生徒の、発問に対する反応や課題に対する考えを予想している。 ☐ 本単元（本時等）で資質・能力の育成ができたか評価する手立てを準備している。 ☐ 児童生徒が働かせるべき「見方・考え方」を理解している。 ☐ 「見方・考え方」を働かせた児童生徒の思考の過程が表れるような板書を計画している。
見いだす	☐ 児童生徒が自ら疑問をもつことができるような資料や発問を準備している。 ☐ 既習の内容や方法を振り返る場面を設定している。 ☐ 児童生徒が課題を明確にすることができるように、疑問を整理して焦点化している。 ☐ 本単元（本時等）の目標（めあて・ねらい）を児童生徒に明示している。
自分で取り組む	☐ 児童生徒が解決の見通しをもつことができるように、学習のめあてや既習の内容との相違点等を児童生徒とともに確認している。 ☐ 児童生徒が自ら情報を収集し調べることができるように、環境等を用意している。 ☐ 児童生徒が自分の考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりする時間を確保している。 ☐ 児童生徒が「見方・考え方」を働かせながら課題に取り組むことができるように、取り組むときの視点や思考の進め方を指導している。 ☐ 児童生徒一人一人の様子を把握し、早めに解決できた児童生徒や、つまづいてしまっている児童生徒に対する次の手立てを準備している。
広げ深める	☐ 児童生徒が自分の考えを伝える場面を設定している。 ☐ 児童生徒が「見方・考え方」を働かせながら、根拠とともに自分の考えを伝えることができるように指導している。 ☐ 児童生徒が多様な考えを理解できるように、互いに学び合う場面を設定している。 ☐ 児童生徒が友達の考えを聞き、疑問点を問い直すことができるように、自分の考えと比べながら聞くなど、聞き方の指導をしている。 ☐ 児童生徒が新たな考えに気付くことができたか確認し、自分の考えや学びを修正することができるように、個に応じた助言をしている。
まとめあげる	☐ 児童生徒が板書やノート、作品等を通して思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる場面を設定している。 ☐ 「深い学び」につながる本単元（本時等）のまとめを、児童生徒の言葉で予想・準備し、書く時間を確保している。 ☐ 児童生徒が学んだことを確実に身に付け、「見方・考え方」を今後の学習や生活にどのように生かすか考える場面を設定している。 ☐ 児童生徒が新たな疑問をもつことができるような発問を準備している。

* 上記の項目は、毎時間（もしくは毎単元）全ての項目を達成することを推奨するものではありません。
 授業改善の視点として、指導案の作成や校内研修等で御活用ください。



ティーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



白鳥 雄輝
先生

八街市立

八街東小学校

経験年数 8 年

(令和 6 年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

○問題に対する答えを導く過程で、これまでの学習が活かさないかなど試行錯誤しながら論理的に考え、粘り強く学習できる環境を整えました。特に、導入で身近な題材を取り入れることで、学習に対しての必要感や自分にもできそうだという有能感をもてるようにしました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2025u100lsansu.pdf>

学習指導案
はこちら



小 4 年 算数科 単元「面積のはかり方と表し方」

本時の目標

○ L 字型の図形がいくつかの長方形で構成されていることに着目するなど、面積の求め方を考え、説明する。 (思考力、判断力、表現力等)

○ 図を分割したり、補ったりして面積の求め方を振り返り、学習に生かそうとする。

(学びに向かう力、人間性等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **見いだす** がよかった

導入時、長方形(チョコレートの模型)が L 字型に変形する場面に出会い、課題に関する興味・関心の意欲を高めていました。「全体から引く」「分けて考える」という数学的な見方・考え方につながる見通しを示すことができ、自ら取り組むための一助につながりました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **広げ深める** がよかった

広げ深める際には、相手に自分の考えをわかり易く伝える必要があります。

その一助として、自分の考えを表現するために、「語りはじめ言葉」をまとめた話型を用意していました。児童はそれを参考に自分の考えを伝え、互いに学び合うことができていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っていきたいです。そのために、子供たちの興味を追求できるような授業が展開できるよう教材研究や教材開発を今後も行っていきます。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



右川 夏奈
先生

八街市立
朝陽小学校

経験年数 3 年
(令和 6 年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

「音楽をつくるってワクワクする！」そんなことを児童が思ってくれるといいなと思い、いくつかの手立てを考えました。低学年では、音楽づくりの入口として、体験を重視した活動を取り入れています。こうした学びが、中学年、高学年へと積み重なり、発展していくことを意識して授業を組み立てました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2025ui002ongaku.pdf>

学習指導案
はこちら



小 1 年 音楽科 単元 「せんりつで よびかけあおう」

本時の目標

〇呼びかけ合うような旋律をつくり、つなげ方を工夫して聴き合うことができる。
(知識及び技能)(思考力、判断力、表現力等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **見いだす** がよかった！

本時のねらいに迫るため、前時の振り返りをしながら、身体表現、歌唱活動、リズム打ち等を取り入れ、楽しい雰囲気作りを行いました。子供たちは、活動を通して、音楽を形づくっている要素を確認し、主体的に学べるめあての設定ができました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **広げ深める** がよかった！

二人組で相談し、旋律の組み合わせを音で確認しながら試すことで、考えを深めていました。タブレットを活用し、つなげた旋律の動きが視覚的に分かるように示されていて、友だちの発表が理解しやすい工夫がされ、実感を伴った共感ができました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

「なぜ『音学』ではなく、『音楽』なのか。」その意味を、常に模索しています。他教科にはない音楽のよさを、今後も児童と共に味わいたいです。児童が、楽しみながら階段を上り続けるような授業展開を目指していきます。



未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します。

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



福永 翔太 先生
八街市立
朝陽小学校

経験年数 4 年
(令和 6 年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

「どうすれば自分が考えたり感じたりしたことを表現することができるか」という視点で授業を構想しました。具体物を用意して実際に触れる場を設定したり、感じたことを表現するために必要な言葉を掲示物で確かめたりしました。子供たちなりに感じたことを表現していました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2025u1003seikatsu.pdf>

学習指導案
はこちら



小 1 年 生活科 単元 「あき だいすき」

本時の目標

○秋探して見付けた自然物の特徴を「あきずかん」にまとめる活動をととして、発見した落ち葉や木の実の特徴に気づき、図鑑にまとめようとしている。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**授業前**がよかった！

子供たちが見付けた「秋」をもとに、みんなで一冊の「あきずかん」を作成するという単元の指導計画やゴールが明確でした。学習を通して児童自身が五感を使って「秋」を感じられるように、秋の自然物や秋に関係する本を常設するなど授業準備や教室環境を大切にしていました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**自分で取り組む**がよかった！

自分で見付けた秋の様子について、タブレットで撮って感じた「秋」や、自然物に触れることで感じた「秋」について、子供たちの気づきが高まるような工夫がされていました。また、本授業で何を学習するか、見通しをもって進めることができるように板書や掲示物(視覚的支援)を大切にしていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

自然に対する知的好奇心を刺激し、「自然っていいな」「もっと知りたいな」という思いを引き出すことができる授業を目指したいです。また、自然物と関わったり、自然物を使って遊んだりするといった、学校にいる今だからこそ友達と一緒にできる体験を充実させていきたいです。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



大澤亜由美
先生

香取市立
わらびが丘
小学校
経験年数 10 年
(令和 6 年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

○ 能力差に関係なく、マット運動が楽しいと思える授業にしたいと考え、「やってみたい」「これならできそうだ」と思える場づくりを意識しました。また、「もとになる運動」「力を高める運動」「力を試す運動」の 3 つの段階を意識し、一時間や一単元の流れを組み立てました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2025u1004taiiku.pdf>

学習指導案
はこちら



小 3 年 体育科 単元「マット運動『できた』のかぎを集めよう」

本時の目標

○ 自らの課題を意識し、後転、開脚後転をすることができるようになる。

(知識及び技能)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **自分で取り組む** がよかった！

「坂道ランド」「溝マットランド」等、多くの工夫した場を、児童同士協力しながら作り上げていました。どの児童も自分の課題を意識し、どの場で練習すればよいかを考え、選択し、熱心に練習していました。また、ICT 機器を活用し、技のポイントを確認しながら、友達同士教え合う場面も多く見られました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **広げ深める** がよかった！

「ミニ発表会」の場を設定し、本時で伸びが見られた児童を紹介していました。開脚後転を発表した児童は「どのタイミングで足を開いているか見てほしい」と伝えてから、上手に演技を行い、友達からも称賛されていました。技のポイントもより明確になり、お互いに学び合うことができたよい場面でした。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

体育の研修を進めていくうちに、学習中や学習後の児童の姿(「やってみたい」「できそうだ」「できたから、さらにもっとうまく」という意欲的な姿)をイメージすることが大切だと気付きました。今後も実態に応じた場や教具、ルールを工夫した授業を目指します。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



菅井 直樹
先生
匝瑳市立
豊栄小学校

経験年数 8 年
(令和 6 年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

児童にとって身近な卒業文集を問題場面に取り入れることで、児童の興味関心を高めたり、生活場面と算数を関連付けたりしながら解決できるようにしました。また、多様な考えに共通している点に着目させ、どの考えにも比例関係を利用していることに気付かせるようにしました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2025u1005sansu.pdf>

学習指導案
はこちら



小6年 算数科 単元 「比例の関係をくわしく調べよう」

本時の目標

○日常生活や算数の学習などの比例が活用できる場面において、比例の関係を
生かして問題を解決している。
(思考力、判断力、表現力等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの「**自分で取り組む**」がよかった！

学習素材として「卒業文集」を取り上げ、児童が身近に感じられるようにするとともに、プレゼンテーションソフトを活用して児童の興味や関心を高めるよう工夫していました。更に、児童が主体的に問題解決を図れるようにするため、発問を工夫していました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの「**まとめあげる**」がよかった！

座席を「コの字」に配置して、話し合いがしやすいようにしていました。自分の考えをペアで共有したり、全体で共有したりして、多様な考えを交流する場面を取り入れ、自らの学びを調整する機会を多く設定していました。さらに、全体の間では共通点を整理し、自分の言葉でまとめを書くための手立てを講じていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

子ども達が学びの主役となるような授業を目指していきたいです。子ども達が主体的に課題に取り組み、自らの手で「学び」を掴み取る姿が理想です。そのために、時に指導者、時に伴走者、時に支援者として、様々な立場から子ども達を支えられる存在でありたいと思います。



未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



廣野 祐子
先生

印西市立
滝野中学校

経験年数 9 年
(令和 6 年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

この授業に限らず、生徒の主体的な学びへつなげるために、単元の導入を工夫するように心がけています。今回は、導入で群読コンクールの動画をいくつか紹介しました。多様な群読方法や、表現の奥深さに気付く中で、「自分たちもやってみたい」と学習意欲が高まったと思います。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2025uio06kokugo.pdf>

学習指導案
はこちら



中1年 国語科 単元「『河童と蛙』の群読台本を作ろう」

本時の目標

○言語描写をもとに内容や心情を捉え、ふさわしい群読方法について考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)

○進んで、表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを基に群読台本を作ろうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**授業前**がよかった！

教科等横断的な視点に立った単元構想によって、資質・能力が育成された生徒の姿を示すことができていました。また、生徒に対し、事前に授業の時間配分まで含めた単元計画を示すことで、見通しをもちながら意欲的に学習に取り組める体制が整えられていました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**見いだす**がよかった！

学習目標の提示にあたって、全体の目標を投げかけたのみならず、前時の反省に基づいて振り返りを行う場面が設けられていました。その結果、生徒が自らの反省を生かして本時の目標を設定することができており、学習への意欲化や焦点化につながっていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

何よりも、学ぶことが楽しいと感じられる授業を目指したいです。また、学んだことを日常生活で生かしたり、「もっと知りたい」と知的好奇心を刺激したりするような活動ができるよう、これからも教材研究に励みます。生徒一人ひとりの成長につなげられるように、頑張ります。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



門脇 淳
先生
成田市立
成田中学校

経験年数 9 年
(令和 6 年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

マット運動は、ICT の活用がとても効果的な單元だと思います。工夫した点は、遅延再生のアプリを使用し、自分の動きをすぐに確認、フィードバックできるようにしたこと。また、ペアの人がアドバイスできるようにポイントを提示しておくようにしました。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2025u1007taiiku.pdf>

《URL》

学習指導案
はこちら



中 1 年 体育科 単元 「マット運動」

本時の目標

- 自己の能力に適した基本的な技の技能を高め、よりよく行うことができるようになる。(知識及び技能)
- 「導入-展開-まとめ」の流れに合った技を見付け、それらを組み合わせることができるようにする。仲間と活動する際、よい動きを相手に伝えることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助することができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **自分で取り組む** がよかった！

生徒一人一人のやるべきことが明確になっており、主体的に取り組んでいました。ICT 機器を活用し、ペア活動において配付された資料を基に、各自の技に対してアドバイスを積極的に行う姿が見られました。話し合い後には、改善点を意識して各自取り組む姿勢が見られました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの **まとめあげる** がよかった！

本時の振り返りをする際、自分の感覚を言葉で表現しており、各自がどのような「アドバイス」をもらい、振り返りをする中で「何ができるようになったのか」について具体的に書いていました。また、生徒の意見を吸い上げ、共有したことで、次時への学習意欲をもたせる取組がされていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

ICT を効果的に活用した授業を増やしていきたいです。ただ、ICT を活用することが目的にならないように、運動量の確保や、誰もが活躍できてお互いを認め合えるような授業展開を目指していきたいです。

もっとよい授業を！

と考えている先生方へ

千葉県では、授業改善を目指す先生方のために、ホームページや動画で授業改善のヒントを公開しています。また、授業参観や教科指導への助言など、よい実践を直接見たり、聞いたりできる事業（授業づくりコーディネーター活用事業）も行っています。効果的に活用し、授業力アップに役立ててください。

見たい！

達人の授業解説動画

“授業の達人”による実際の授業を見ながら、実践モデルプログラムに沿った授業づくりのポイントを学ぶことができます。

＊令和7年2月現在

小学校10本・中学校10本配信中

＊令和7年度新たに10本公開予定

＊動画は、限定公開となっており、URLは、各学校へ周知されています。

調べたい！

教育コンテンツ・データベース 「Wakaba」

千葉県内の優れた学習指導案を2800件以上掲載しています。また、長研生の研究報告書や授業づくりコーディネーターの実践事例等も見ることができます。

《URL》

<https://ap.ice.or.jp/wakaba2013/index.php>

二次元コード



参観したい！

聞きたい！

授業づくりコーディネーター 活用事業

千葉県では、指導方法の工夫や改善など優れた指導力を発揮している先生方を『授業づくりコーディネーター』に認定しており、授業を参観したり、授業づくりのアドバイスを受けたりすることができます。

北総地区には、コーディネーターが23名います。（令和7年2月現在）

《URL》

https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/jugyo_coordinator.html

二次元コード



知りたい！

「思考し、表現する力」を 高める実践モデルプログラム

実践モデルプログラムに沿った実際の授業を見ながら、思考し表現する力を高める授業づくりのポイントを学ぶことができます。

《URL》

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/zissenmoderu/moderupuro.html>

二次元コード

